

そばの実の輸入

令和元年 12 月 18 日
横 浜 税 関

横浜港は、輸入数量・金額ともに
31年連続**全国第1位!**
年越しそばを控え、11月は輸入量が増加



はじめに

麺料理のひとつである「そば」は、栄養も豊富で、手軽に食べられることから、とてもなじみのある食べ物のひとつで、江戸時代に大衆食として普及したといわれています。年末を迎えるにあたり、大掃除や新年の飾りつけの後、大晦日の夜には、除夜の鐘を聞きながら、温かいつゆを張った年越しそばを食べる方も多いのではないのでしょうか。年越しそばは、「長くのびるそばのように、長生きができ、幸せや家系が長く続くように」という願いを込めて、食べられています。

横浜港は、そばの原料である「そばの実」の輸入において、輸入数量・金額ともに 1988 年から 31 年間連続で全国第 1 位の港となっています。そばの実は、写真のようにそば殻の付いた「殻付き」のものとそば殻を取り除いた「むき実」のものが輸入されています。今月は、横浜港で好調に推移している「そばの実の輸入」について特集します。

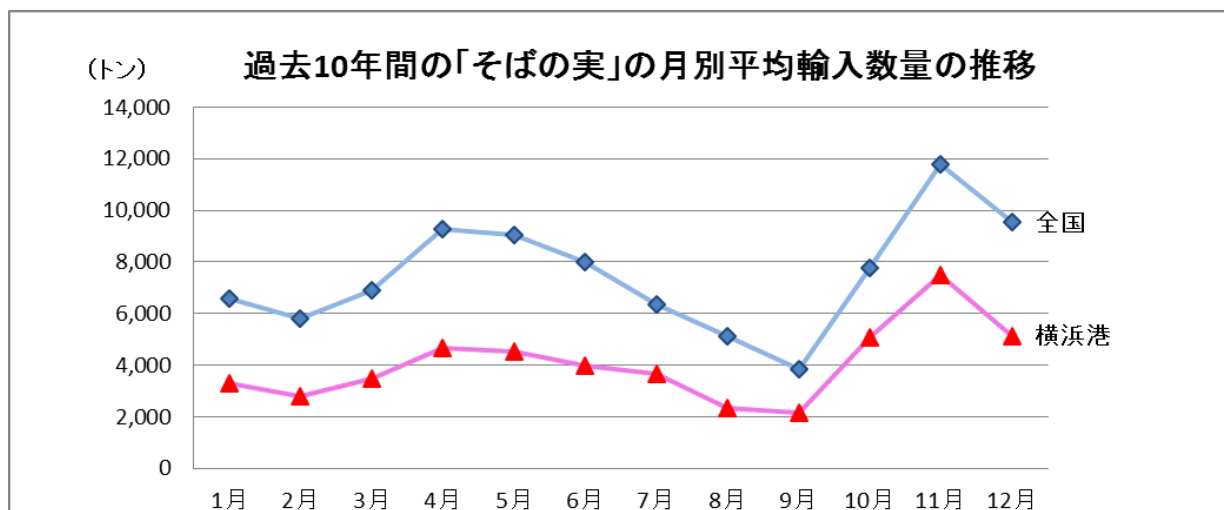
輸入量を月別で見ると、下のグラフのように 4~5 月と 11 月に多く輸入される傾向にあります。これは、夏は冷たいそば、冬は温かいそばや年越しそばの需要があることから、これらの時期の輸入が多くなっています。



殻付き（玄そば）



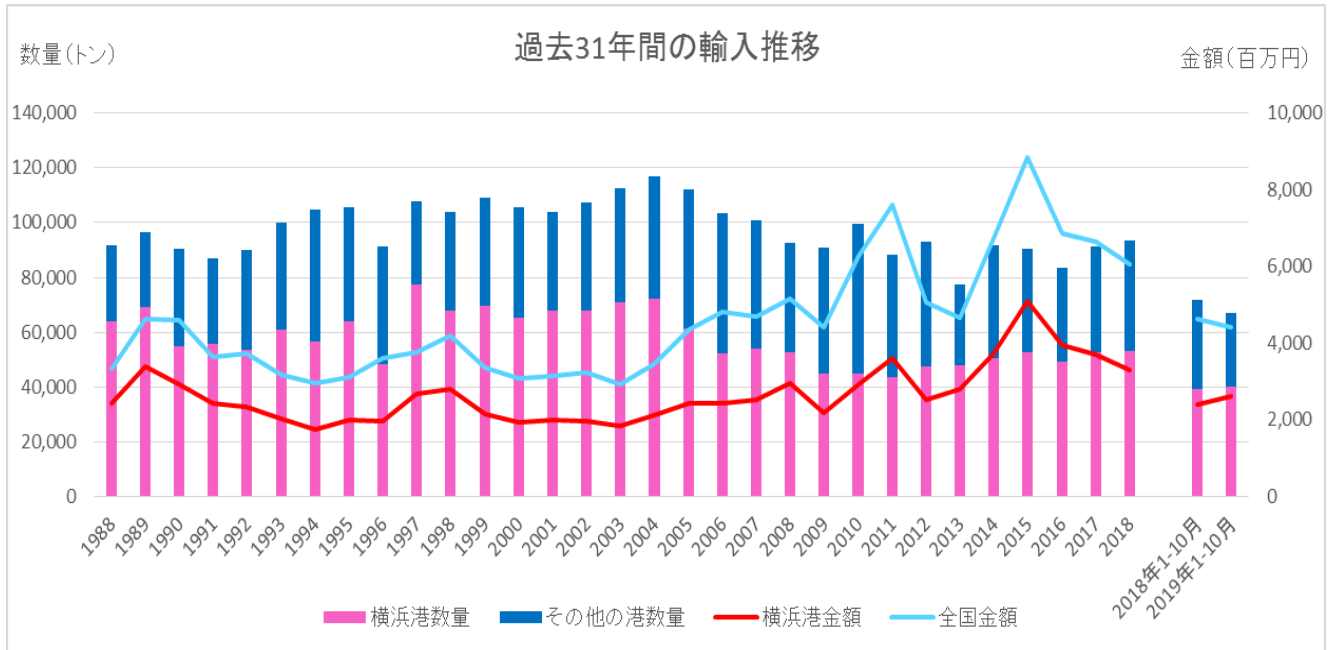
むき実



輸入動向

2019年1月から10月のそばの実の輸入実績は、全国では、輸入金額は44億3百万円（対前年同期比5.2%減）、輸入数量は6万7,016トン（同6.8%減）と減少したものの、横浜港では、輸入金額は26億円32百万円（同9.0%増）、輸入数量は4万123トン（同2.8%増）と増加しました。

過去31年間の輸入数量をみると、全国では、年間10万トン前後で推移しています。



原産国別の輸入シェア

2018年は、全国では12カ国、横浜港では9カ国を原産国とするそばの実が輸入されました。原産国別の輸入実績は、中華人民共和国が全国・横浜港ともに、数量・金額で第1位となっています。アメリカ合衆国は、全国では数量・金額ともに、横浜港では金額で第2位となっており、これら2カ国で8割以上のシェアを占めています。

中華人民共和国を原産国とする輸入が多いのは、生産量が多く、品質が安定していること、輸送日数が短いことなどが挙げられます。アメリカ合衆国を原産国とする輸入が多いのは、契約栽培であり数量不足の心配がないこと、気候も良く、品質が高いことなどが挙げられます。

全 国

2018年

国名	数量		輸入額	
	(トン)	構成比	(千円)	構成比
中華人民共和国	63,159	67.6%	3,807,392	62.9%
アメリカ合衆国	16,594	17.8%	1,532,683	25.3%
ロシア	9,690	10.4%	447,786	7.4%
ブラジル	2,164	2.3%	119,573	2.0%
モンゴル	1,014	1.1%	69,679	1.2%
その他	750	0.8%	72,428	1.2%
計	93,372	100.0%	6,049,541	100.0%

横浜港

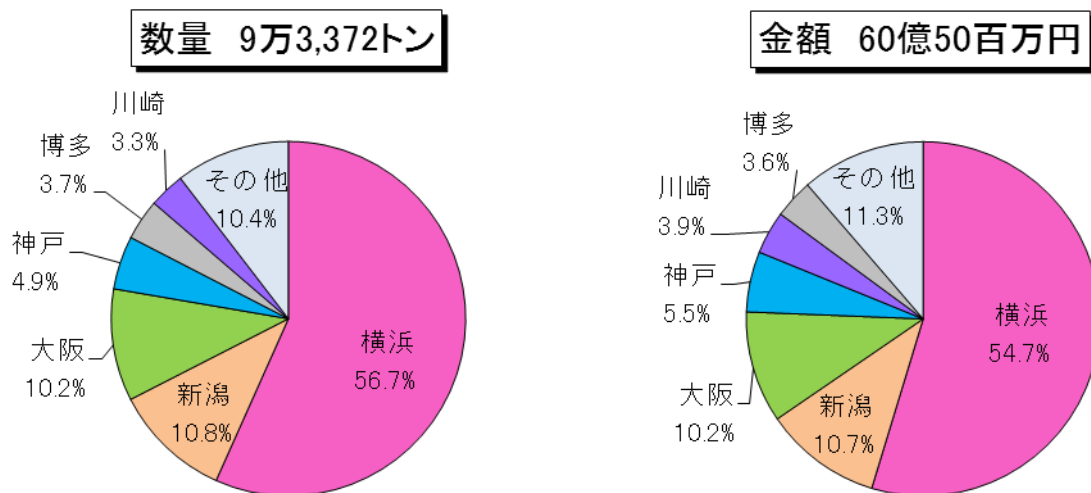
2018年

国名	数量		輸入額	
	(トン)	構成比	(千円)	構成比
中華人民共和国	38,185	72.1%	2,291,087	69.2%
アメリカ合衆国	5,533	10.5%	519,850	15.7%
ロシア	5,623	10.6%	265,968	8.0%
ブラジル	2,062	3.9%	113,582	3.4%
モンゴル	1,014	1.9%	69,679	2.1%
その他	514	1.0%	49,547	1.5%
計	52,932	100.0%	3,309,713	100.0%

横浜港の輸入シェア

2018年は、横浜港は輸入数量で56.7%、輸入金額で54.7%のシェアを占めています。

横浜港のシェアが高い理由は、横浜港は食品原料を扱っている歴史が長く、取扱いに慣れた物流業者が多いこと、そばの実を搬入・保管するためのサイロや倉庫があり、そこを輸入者が物流拠点としていること、関東、東北、甲信越地方に所在する製粉メーカーへの運送が便利であることなどによるものです。



今後の見通し

業界では、そばの実について

- ① 夏は冷たいそば、冬は温かいそば、年末は年越しそばの需要があること
- ② そばは健康に良いという研究報告があり、年代を問わず手軽に食べられていること
- ③ 外食産業やコンビニエンスストアで一定の需要があること

など、国内における需要は一定程度見込まれることから、そばの実の輸入は引き続き、横ばい傾向で推移していくものとみています。

また、輸入時の状態は、「殻付き」と「むき実」のものがありますが、「むき実」のものが増加傾向にあり、今後も続くものとみています(6ページの「4. 輸入状態別推移」を参照)。これは、日本で製麺にする際の作業効率が良く、そば殻の処分費用がかからないことや、日本ではそば殻の枕の需要が減少した一方、中華人民共和国では需要があるためです。

本特集の「そばの実の輸入」は、以下の統計品目番号をとりまとめたものです。

1. 殻付き 1008.10-090「そば」
2. むき実 1104.29-310「その他の加工穀物(そばのもの)」(2010年以降)並びに1104.29-200及び1104.29-300「その他の加工穀物」(2009年以前)の全てを「そばのもの」と仮定

<取材協力> (株)三忠、(株)新糧、中外倉庫運輸(株)、(一社)日本蕎麦協会(五十音順)

【この資料に関する問い合わせ】

横浜税関 調査部 調査統計課 Tel 045-212-6100 (直通)

〒231-8401 横浜市中区海岸通1-1 (横浜税関 本関庁舎1階)

<http://www.customs.go.jp/yokohama/>

本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。

そばの実のミニ知識

【そばの実の構造】

そばの実は、外側から中心に向かって殻、種皮、胚乳、胚芽という構造になっています。米や麦と異なり、たんぱく質等の栄養を多く含んだ胚芽が中心部分にあり、胚芽ごと製粉するため、そばには多くの栄養が含まれています。



【そばの栄養成分】

○ルチン

ルチンは抗酸化物質ポリフェノールの一つで、そば特有の栄養成分です。毛細血管を強化・安定させ、血行を促進し、生活習慣病を予防する効果があります。

○たんぱく質

そばのたんぱく質は必須アミノ酸のバランスに優れた良質なたんぱく質です。たんぱく質の栄養価の指標であるアミノ酸スコアは、牛乳を 100 とした場合、そば 92、米 68、麦 44 と、他の穀類に比べ各段に優れています。

○ミネラル

そばにはマグネシウム、銅、鉄、マンガン、カリウム、亜鉛、リンなどの多彩なミネラルが含まれています。特に多く含まれているカリウムは、ナトリウム（塩分）を排出する働きがあります。また、水に溶け出しやすい成分で約 30%がお湯に溶け出すため、「そば湯」を飲むと効率よくカリウムを摂取できます。

そばの栄養成分表

(重量 100 g 当たり)

	そば粉 (全層粉※)	小麦粉 (強力一等粉)	米 (精白米)
エネルギー	361kcal	365kcal	358kcal
ルチン	15mg	なし	なし
たんぱく質	12.0%	11.8%	6.1%
マグネシウム	190mg	23mg	23mg
カリウム	410mg	89mg	89mg



※全層粉：玄そばまたは抜き実を丸ごと製粉した粉



【参考文献】

「写真と絵で見るそば」((一社) 日本蕎麦協会)
イラスト さとう有作

【そばの栄養成分表の出典】

日穀製粉(株) ホームページ
日本食品標準成分表 2015

そばの実の輸入に係る各種データ

1. 月別平均輸入数量

(単位：トン)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	6,574	5,809	6,880	9,260	9,044	7,980
横浜港	3,283	2,816	3,498	4,668	4,526	3,995

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全国	6,335	5,098	3,861	7,785	11,797	9,541
横浜港	3,660	2,360	2,163	5,094	7,498	5,137

(注) 過去10年間(2009年～2018年)における月別平均輸入数量の推移

2. そばの実の輸入実績推移

年	全 国				横浜港							
	数量 (トン)	前年比	金額 (千円)	前年比	通関単価 (円/KG)	数量 (トン)	前年比	全国比	金額 (千円)	前年比	全国比	通関単価 (円/KG)
1988	91,834	-	3,332,655	-	36	64,134	-	69.8%	2,416,042	-	72.5%	38
1989	96,592	105.2%	4,633,198	139.0%	48	69,341	108.1%	71.8%	3,377,737	139.8%	72.9%	49
1990	90,265	93.5%	4,586,597	99.0%	51	55,055	79.4%	61.0%	2,926,139	86.6%	63.8%	53
1991	86,732	96.1%	3,644,225	79.5%	42	55,712	101.2%	64.2%	2,415,551	82.6%	66.3%	43
1992	89,956	103.7%	3,720,926	102.1%	41	53,430	95.9%	59.4%	2,322,665	96.2%	62.4%	43
1993	99,863	111.0%	3,179,474	85.4%	32	60,800	113.8%	60.9%	2,020,955	87.0%	63.6%	33
1994	104,717	104.9%	2,958,136	93.0%	28	56,699	93.3%	54.1%	1,756,393	86.9%	59.4%	31
1995	105,490	100.7%	3,108,541	105.1%	29	64,104	113.1%	60.8%	1,986,826	113.1%	63.9%	31
1996	91,443	86.7%	3,611,278	116.2%	39	48,416	75.5%	52.9%	1,976,875	99.5%	54.7%	41
1997	107,639	117.7%	3,777,789	104.6%	35	77,378	159.8%	71.9%	2,692,047	136.2%	71.3%	35
1998	103,671	96.3%	4,208,117	111.4%	41	67,810	87.6%	65.4%	2,801,138	104.1%	66.6%	41
1999	109,144	105.3%	3,361,101	79.9%	31	69,602	102.6%	63.8%	2,162,038	77.2%	64.3%	31
2000	105,800	96.9%	3,070,265	91.3%	29	65,232	93.7%	61.7%	1,925,219	89.0%	62.7%	30
2001	104,049	98.3%	3,135,182	102.1%	30	67,922	104.1%	65.3%	2,004,701	104.1%	63.9%	30
2002	107,498	103.3%	3,245,848	103.5%	30	67,818	99.8%	63.1%	1,975,841	98.6%	60.9%	29
2003	112,727	104.9%	2,916,939	89.9%	26	71,082	104.8%	63.1%	1,830,442	92.6%	62.8%	26
2004	116,730	103.6%	3,457,948	118.5%	30	72,177	101.5%	61.8%	2,114,964	115.5%	61.2%	29
2005	112,011	96.0%	4,353,628	125.9%	39	61,355	85.0%	54.8%	2,417,861	114.3%	55.5%	39
2006	103,348	92.3%	4,805,361	110.4%	46	52,357	85.3%	50.7%	2,433,428	100.6%	50.6%	46
2007	100,862	97.6%	4,706,093	97.9%	47	53,924	103.0%	53.5%	2,516,421	103.4%	53.5%	47
2008	92,395	91.6%	5,164,132	109.7%	56	52,632	97.6%	57.0%	2,969,188	118.0%	57.5%	56
2009	91,030	98.5%	4,417,565	85.5%	49	45,060	85.6%	49.5%	2,196,074	74.0%	49.7%	49
2010	99,687	109.5%	6,266,470	141.9%	63	44,962	99.8%	45.1%	2,935,653	133.7%	46.8%	65
2011	88,285	88.6%	7,611,791	121.5%	86	43,376	96.5%	49.1%	3,614,503	123.1%	47.5%	83
2012	92,827	105.1%	5,050,622	66.4%	54	47,666	109.9%	51.3%	2,515,140	69.6%	49.8%	53
2013	77,595	83.6%	4,676,468	92.6%	60	47,998	100.7%	61.9%	2,815,865	112.0%	60.2%	59
2014	91,760	118.3%	6,740,512	144.1%	73	50,411	105.0%	54.9%	3,720,053	132.1%	55.2%	74
2015	90,375	98.5%	8,839,360	131.1%	98	52,570	104.3%	58.2%	5,097,971	137.0%	57.7%	97
2016	83,421	92.3%	6,848,983	77.5%	82	49,227	93.6%	59.0%	3,962,042	77.7%	57.8%	80
2017	91,296	109.4%	6,632,587	96.8%	73	52,771	107.2%	57.8%	3,715,273	93.8%	56.0%	70
2018	93,372	102.3%	6,049,541	91.2%	65	52,932	100.3%	56.7%	3,309,713	89.1%	54.7%	63
2018年1-10月	71,908	100.8%	4,643,298	88.8%	65	39,033	96.3%	54.3%	2,414,303	83.2%	52.0%	62
2019年1-10月	67,016	93.2%	4,403,183	94.8%	66	40,123	102.8%	59.9%	2,631,520	109.0%	59.8%	66

(注) ①輸入実績は、以下の統計品目番号の合計

- 1008.10-090「そばの実」
- 1104.29-200「その他の加工穀物」(1988年から1995年3月まで)
- 1104.29-300「その他の加工穀物」(1995年4月から2009年まで)
- 1104.29-310「その他の加工穀物(そばのもの)」(2010年以降)

②2019年1月～9月分は確報値。2019年10月分は輸入9桁速報値。
その他は確定値。

【参考】

2009年以前の輸入統計品目番号「1104.29」の統計細分「200」及び「300」には、そば以外のものが含まれる。
統計細分「200」及び「300」は、2010年に統計細分「310」(そばのもの)が新設されるまでに、「390」、「410」、「490」及び「310」(そばのもの)に分割されており、これらの2010年から2018年までの輸入実績の合計のうち、輸入数量：97% 輸入金額：93%が統計細分「310」(そばのもの)であった。したがって、本特集では2009年以前の統計細分「200」及び「300」の全量を「そばのもの」と仮定した。

3. そばの実の港別輸入実績(2018年)

港名	数量 (トン)	構成比	金額 (千円)	構成比	通関単価 (円/KG)
全国	93,372	100.0%	6,049,541	100.0%	65
横浜	52,932	56.7%	3,309,713	54.7%	63
新潟	10,073	10.8%	649,602	10.7%	64
大阪	9,545	10.2%	616,141	10.2%	65
神戸	4,549	4.9%	333,511	5.5%	73
川崎	3,046	3.3%	237,477	3.9%	78
博多	3,485	3.7%	216,486	3.6%	62
その他	9,743	10.4%	686,611	11.3%	70

4. 輸入状態別推移(全国の数量)

(単位: トン)

年	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997
そばの実 (A)+(B)	91,834	96,592	90,265	86,732	89,956	99,863	104,717	105,490	91,443	107,639
殻付き(A)	91,753	96,461	90,140	86,687	89,948	99,755	104,039	103,831	89,072	104,647
むき実(B)	81	131	125	45	8	108	678	1,659	2,371	2,992
【参考】換算数量(B')	116	187	179	65	12	154	969	2,370	3,387	4,274

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
そばの実 (A)+(B)	103,671	109,144	105,800	104,049	107,498	112,727	116,730	112,011	103,348	100,862
殻付き(A)	99,359	103,290	97,050	92,722	90,659	91,960	89,545	84,919	78,332	71,045
むき実(B)	4,312	5,854	8,750	11,327	16,839	20,767	27,185	27,092	25,016	29,817
【参考】換算数量(B')	6,160	8,363	12,500	16,181	24,056	29,668	38,835	38,703	35,737	42,596

年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
そばの実 (A)+(B)	92,395	91,030	99,687	88,285	92,827	77,595	91,760	90,375	83,421	91,296
殻付き(A)	62,942	59,649	70,265	56,525	54,077	41,334	49,924	54,776	47,466	52,093
むき実(B)	29,453	31,381	29,422	31,760	38,750	36,261	41,836	35,599	35,955	39,203
【参考】換算数量(B')	42,075	44,830	42,031	45,372	55,357	51,802	59,766	50,856	51,365	56,004

年	2018	2018年 1-10月	2019年 1-10月
そばの実 (A)+(B)	93,372	71,908	67,016
殻付き(A)	54,070	40,580	35,319
むき実(B)	39,302	31,328	31,697
【参考】換算数量(B')	56,145	44,754	45,282

①「殻付き(A)」は輸入統計品目番号1008.10-090の輸入実績。

②「むき実(B)」は、

2010年以降は、輸入統計品目番号1104.29-310「その他の加工穀物(そばのもの)」の輸入実績。

2009年以前は、輸入統計品目番号1104.29-200及び1104.29-300「その他の加工穀物」の輸入実績の全量をそばのものとして仮定。

③「【参考】換算数量(B')」は、

「むき実」を「殻付き」とした場合の重量換算率70%(業界概算値)で割り戻した値

$$B'=B/0.7$$

④2019年1月～9月分は確報値。2019年10月分は輸入9桁速報値。